論文解説

てんかんの新しい論文まとめ

2026年10〜11月

一般の方・医療者向け

主論文10報と関連報告

医知創造ラボ

研究結果を、
診察室でどう
受け止めるか

今回の全体像

診療につながる6つのテーマ

- 薬物治療・重積
- 女性と妊娠
- 併存症とリスク
- 機能性発作
- 分類
- 対話型AI

図の原寸は概要欄の記事からご覧いただけます。



セノバメートは重積でも検討された

成人の焦点起始の難治性・超難治性重積。
薬の追加群で重積停止が多かった。
診療記録を用いた群間比較。

国内での効能・効果

てんかん患者の部分発作
二次性全般化発作を含む

心停止後：重積停止と回復は別の転帰

SUPER-CAT

対象

心停止後の超難治性重積
予後所見を踏まえて選んだ患者

介入

ケタミン＋ペランパネル

結果の解釈

重積停止

併用群で多くみられた
長期の神経学的転帰とは区別

限界

観察研究。治療効果は未確定

併用群で胆汁うっ滞を示唆する検査値上昇が多かった。

きょうだい比較で関連が弱まった

× 早合点

関連が弱まったので、
妊娠中のバルプロ酸は
安全と言える？

✓ 研究から言えること

子どもの神経発達症との
関連が弱まった。
この研究で安全性は
確認できない。

妊娠を希望するとき・妊娠に気づいたときは、自己判断で中止せず処方医へ。

ホルモン避妊法は薬の組み合わせを確認

肝臓での薬の分解を促す抗発作薬。
一部の避妊法と処方時期が重なる。

診療で確認すること

**薬を始めるとき・替えるときは、
処方医や薬剤師に両方の薬の名前を伝える。**

中年期のてんかんと若年性認知症

フランスとスウェーデンで関連を確認。
フランスの追跡研究では、
てんかん群で若年性認知症が多かった。

診療で聞くこと

記憶や仕事、
日常生活の変化。

発作のほか、気分や生活の困りごとも聞く

自殺で亡くなった患者の背景を調査。
飲酒の問題や独居、うつ・不安などが関連。

診察の手がかり

**薬を続けにくい事情や、
支援につながりにくい事情も話題にする。**

高齢発症てんかんと血管リスク

米国の複数の追跡研究を統合。
喫煙、高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、
脳卒中の既往などと発症が関連した。

診療での意味

脳血管の病気や
血管リスクも確認する。

自己学習型のオンライン介入を比較

対象と比較

対象

ビデオ脳波で確認した成人
活動性てんかんの併存は除外

対照

通常診療のみ

試験の結果

自己学習＋通常診療

月間の発作頻度が低下
通常診療のみとの比較

直接比較

セラピスト付きとの優劣は不明

単施設の試験。発作回数は主に本人の日誌で評価。

分類

医知創造ラボ

ESSES：同じ原因から複数の症候群へ

原因となる遺伝子が同じでも、
発作や発達の特徴には幅がある。

診療で照らし合わせること

**発作・脳波・発達の経過と、
遺伝子の変化が働きに及ぼす影響。**

脳波とスマートフォンをつないだ入院試作

発作の可能性を通知し、返答を受け取る。
患者の返答で検出器を再学習。
シミュレーションで誤警報が減少。

検証の範囲

入院中の小規模な研究。
家庭での長期使用や
発作減少は未検証。

まとめ

医知創造ラボ

結果を診療に持ち帰るときの視点

重積

重積停止と回復は
別々に確かめる。

妊娠・避妊

薬の安全性と
相互作用を確認。

診療の視点

発作とあわせて
生活の変化を聞く。

機能性発作、分類、AIの詳細と全論文の出典は概要欄の記事へ。

ご視聴ありがとうございました。

チャンネル登録、高評価をよろしくお願いします。

今回の振り返り

てんかんの研究を
6つのテーマから解説。

関連記事

論文と図の原寸は
概要欄の記事へ。

次の動画へ

今後も脳神経内科の
話題をお届けします。

治療や服薬について気になる点は、次の受診時に担当医へ。